

## 【学位論文審査の要旨】

本論文は、「創発的な協創」の観光における現状を分析するとともに、それを誘発し、観光振興に活用していくための諸条件について考察したものである。協創とは、不特定多数の人々や団体がインターネット等を活用して共有する成果を得ることであり、それが創発的であるとは、協創の参加者に明確な共有目標が存在しない状況であることを指す。日本のネットカルチャーにおいては「初音ミク」の例のように、創発的な共創がきわめて盛んに起きている。したがって、観光対象となりうるコンテンツが創発的に生み出されていけば、観光における新たな魅力や遊び方が出現し、地域の観光振興に貢献できる可能性がある。

本研究では、まず、既往研究で指摘された協創が発生するための諸条件を整理し、さらに「初音ミク」を事例として「創発的」な協創が起こるための追加条件として「協創の焦点となる像」「コンテンツの非完結性」「著作権管理とマナーの整備」を導き出した。「協創の焦点となる像」は、集約性を具体化したものであり、キャラクター設定のような共有できる具体的存在を指す。「コンテンツの非完結性」は、共有されたコンテンツを参加者がただ視聴するだけでなく、それを利用して盛り上げていく、次のコンテンツ作成の一部やヒントとなっていく構造のことである。そして「著作権管理とマナーの整備」は、協創への参加する上での心理的敷居を下げるものであり、安心して参加できる環境を用意するということである。

次に、創発的に協創されたコンテンツが観光行動を誘引し得ることを、諏訪、米子、群馬の三つの事例から明らかにした。また、各事例から、観光時の写真や動画、訪問記、創作物が「創発的に協創されているコンテンツ」をさらに盛り上げる要因としても機能するサイクルがあり得ることを明らかにした。

つづいて、現時点において観光関連のコンテンツがどの程度創発的に協創されているかを明らかにするために、ニコニコ動画における観光関連動画ならびに協創が盛んな動画ジャンルの動画に付与されたユーザー生成タグを用い定量的分析を行った。この結果から、観光関連のコンテンツの協創は現状では規模が小さく活発とはいえないこと、またその理由として、①参加者が少ない、②人気投稿者が不在、③タグの示すジャンルが個人ごとに形成される傾向がある、④頻出するタグに多様性が不足している、⑤関連するツールが不足している、の五点を明らかにした。さらに、ニコニコ動画のユーザーインターフェイスにおいては、観光関連のコンテンツを投稿し、協創に参加するための敷居が高いという課題を明らかにした。

この課題、ならびに先述の「創発的な協創を実現するための条件」をふまえ、創発的な協創を誘引する Web サービスの開発と実装を行い、評価実験を行った。具体的には、音楽が付いたスライドショーを創発的に協創し、共有できる Web サービス「MeLocation」を開発し、実装した。この際、写真1枚の追加や評価タグのクリックなどによって、視聴者が簡単にスライドショーの協創に参加できるようにした。評価実験の結果、観光関連のコン

コンテンツの創発的な協創を促す Web サービスの可能性を示すことができたとともに、すでに Web サービスで観光関連情報を積極的に入手している被験者ほど、実験に利用した Web サービスの各機能を容易に使いこなし、進んで本サービスを利用したいと考える傾向が明らかになった。このため、観光関連の情報を扱う他の Web サービスと連携させることで、興味を持つ参加者を取り込み、観光関連のコンテンツの創発的な協創を促進できる可能性が示された。

最後に本論文は、以上の議論をふまえ、観光における創発的な協創の活用に向けた課題と展望を取りまとめた。観光においても条件を整えることで、創発的な協創を利用した空間の新たな観光価値の生成を促すことが可能であるが、一方でそれを担う参加者をいかに獲得すべきかという課題があることを示した。

本論文は、これまで明らかにされていなかった観光における創発的な協創の現状や意義を提示した点、観光における創発的な協創を実現させるための条件を示した点で、観光研究における新たな知見を提供するものであるしたがって、本論文は観光科学の発展に寄与するだけでなく、博士（観光科学）の学位授与に十分値するものと判断できる。